

～未来を創る技術者たち～

奈良工業高等専門学校



奈良工業高等専門学校 校長
江崎 修典 氏

生成AIをはじめとする技術革新によって、社会や産業は大きな転換期を迎えています。私は情報工学分野で長く教育・研究に携わってきましたが、近年のAIの進化は、技術者の仕事の進め方のものを大きく変えました。一方で、AIが示した結果が本当に正しいのか、安全なのか、社会にとって望ましいのかを判断するためには、確かな専門知識と倫理観が欠かせません。AI時代だからこそ、専門性を持つ人材の価値はますます高まると考えています。

また、社会に情報があふれ、多様な個性や価値観が顕在化の中で、一人ひとりに応じた個別最適化された学びが求められています。奈良高専では2027年度から新たな3学科体制へ移行し、「専門分野にAIにも強い奈良高専」として教育の再設計に取り組んでいます。私たちが目指しているのは、単にAIを教育に取り入れることではありません。AI時代にあふましい教育のあり方そのものを見直し、再構築することです。単にAIを使うのではなく、専門性を土台にAIを活用しながら、自ら考え、新たな価値を創造できる技術者を育成したいと考えています。

校長メッセージ 企業とともにAI時代の 人材育成を再設計する

律の教育ではなく、一人ひとりに応じた個別最適化された学びが求められています。奈良高専では2027年度から新たな3学科体制へ移行し、「専門分野にAIにも強い奈良高専」として教育の再設計に取り組んでいます。私たちが目指しているのは、単にAIを教育に取り入れることではありません。AI時代にあふましい教育のあり方そのものを見直し、再構築することです。単にAIを使うのではなく、専門性を土台にAIを活用しながら、自ら考え、新たな価値を創造できる技術者を育成したいと考えています。

これからの教育は、学校だけで完結できるものではなく、企業や地域社会と連携し、実社会の課題や産業界のニーズを教育へ取り込みながら、次代を担う人材を育てていく必要があります。社会とともに教育を進化させ、常に時代を先取りした人材を輩出し続けることが、高専に課せられた使命だと考えています。

高専卒業生を高く評価してくださっている企業の皆様には、ぜひ共同研究や人材育成を通じて高専とつながっていただきたいと思います。その中で学生の力や可能性に触れていただき、将来的な採用へとつながる関係を築いていければ幸いです。これからの時代は、一人ひとりが高い専門性を持ち、AIを活用しながら少数人数でも大きな価値を生み出すことが求められます。奈良高専は、そのような人材の育成を産業界とともに進めています。

そして、本紙をご覧の皆様にもう一つお願いがあります。技術の未来を担う子どもたちにとって、高専は最短距離の一つです。高専卒業生の力をよく知る企業の皆様からこそ、モノづくりや科学技術に関心を持つ身近な中学生に、高専という進路をぜひ勧めたいと思います。企業や地域社会の皆様とともに、奈良から日本の未来を支える技術者を育てていきたいと考えています。

システムデザイン工学科 (定員120人)

「システムデザイン工学科」は、物質創成化学科と共に、専門技術・知識に最新の情報技術を掛け合わせた「高度情報活用人材」の育成を目指す。ロボットや自動運転、スマート工場などの先進技術分野では、機械・電気電子・制御・情報などの4分野を横断し、システム全体を設計できる技術者を育てたいと考えています。



情報科学科



生成AIの登場により、社会や産業の姿は大きく変わり始めている。プログラム開発や設計、データ分析など、これまで技術者が担ってきた仕事をAIが支援し、技術開発のスピードや生産性を高める時代が到来している。しかし、AIは常に正しい答えを示すわけではなく、その結果に責任を負うこともない。AIが示した結果を評価



学生による高専特化型受付AIの開発

し、安全性や倫理性、実現可能性を見極め、実社会の課題に適用するには、確かな専門知識と判断力が不可欠である。AI時代だからこそ、専門性の重要性はむしろ高まっている。

「情報科学科」では、コンピュータサイエンス、データサイエンス、AI基盤技術、セキュリティなどを学び、AIそのものを理解し、創り出す能力を身につける。奈良高専が目指すのは、「AIを学ぶ学校」ではなく、「専門性を核としてAIを自在に活用し、まだ答えのない課題に挑み、新しい価値を生み出す技術者を育てる学校」である。専門性とAIを掛け合わせることで、これからの社会や産業を支える技術者教育の新たな形を創り出していく。

「情報科学科」は、従来の情報工学科を前身とし、新たに「科学」の要素を加え、AIを含む情報技術を「使う」だけでなく、社会で「動かす」将来へ「発展」させる「高度情報専門人材」の育成を目指す。プログラミングなどの科目を早期化するとともに、4年次から「コンピュータサイエンスコース(量子コンピュータ・サイエンス)」と「データサイエンスコース(データサイエンス・AI系)」に分かれ、専門性を高める。また、「情報技術は『人』のためにある」との考えから、経営・マネジメント・問題解決型科目を充実させ、

「情報科学科」は、従来の情報工学科を前身とし、新たに「科学」の要素を加え、AIを含む情報技術を「使う」だけでなく、社会で「動かす」将来へ「発展」させる「高度情報専門人材」の育成を目指す。プログラミングなどの科目を早期化するとともに、4年次から「コンピュータサイエンスコース(量子コンピュータ・サイエンス)」と「データサイエンスコース(データサイエンス・AI系)」に分かれ、専門性を高める。また、「情報技術は『人』のためにある」との考えから、経営・マネジメント・問題解決型科目を充実させ、

情報科学科 (定員40人)

「情報科学科」は、従来の情報工学科を前身とし、新たに「科学」の要素を加え、AIを含む情報技術を「使う」だけでなく、社会で「動かす」将来へ「発展」させる「高度情報専門人材」の育成を目指す。プログラミングなどの科目を早期化するとともに、4年次から「コンピュータサイエンスコース(量子コンピュータ・サイエンス)」と「データサイエンスコース(データサイエンス・AI系)」に分かれ、専門性を高める。また、「情報技術は『人』のためにある」との考えから、経営・マネジメント・問題解決型科目を充実させ、

2027年度改組
—古都奈良千年の叢知とAIの出会い—

ここから世界へ ここから未来へ

Takatori

当社は創業70年を迎える歴史ある企業です。
これからのカーボンニュートラル社会、
ICT(Information and Communication Technology) 社会を豊かにするため、
歴史ある大きな「株式会社タカトリ」というキャンパスで
皆さんの夢を描き、実現させ明るい未来を創造しましょう！
奈良県より世界へ、新しいその先へ飛び立つための
「モノづくり」を一緒にしていきましょう。

株式会社タカトリ

本社/〒634-8580 奈良県橿原市新堂町 313-1 TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616
URL <https://www.takatori-g.co.jp> E-mail info@takatori-g.co.jp



高専OB
絶賛活躍中!

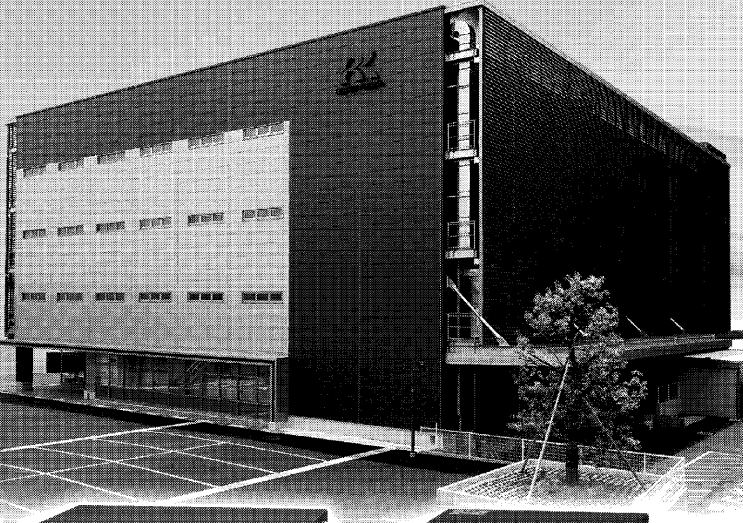
君のロジックが、未来を変える。
Innovate with us.

【食・医療・日用品】
暮らしを支える 加工機メーカー
品川工業所
SHINAGAWA MACHINERY WORKS CO., LTD.
本社・工場 〒636-0311 奈良県磯城郡田原本町八尾508
TEL.0744-32-4055 FAX.0744-33-3480

わたしたちは安全と安心を提供しています。

私たちは1972年に創業以来「プレス加工に確かな信頼性をプラスする」という理念のもと主にプレス機を扱う加工現場へ更なる安心・安全な環境を提供するべく様々な装置を研究、製造、販売してきました。

時代の流れと共に変化する機械、ものづくりに対する変わらない想い。ものづくりの現場を支える存在としてお客様の声を大切にしながら、そして応え続けていきます。



プレス荷重監視装置

NEW SELBER VL

RM-7402 2ch
RM-7404 4ch

カス上がり検出装置(新型)

NEW SELBER VX

RM-7312 2ch
RM-7314 4ch

カス上がり検出装置

NEW SELBER CB/CX

RM-2510 (ベースユニット)
RM-2512 RM-2514 (検出ユニット)

プレス加工に確かな信頼性をプラスします。

株式会社理研計器奈良製作所

RIKEN KEIKI NARA MFG.Co.,Ltd.

〒633-0054 奈良県桜井市阿部49-1

TEL:0744-43-0051 FAX:0744-43-0056

<https://www.rikenkeikinara.co.jp>

物質創成化学科

(定員40人)

「物質創成化学科」は、化学・材料・生命科学を基盤に、社会に貢献する新たな物質や技術を創出できる技術者の育成を目指す。AIやデータサイエンスの活用が研究開発を大きく変える中、材料探索や実験条件

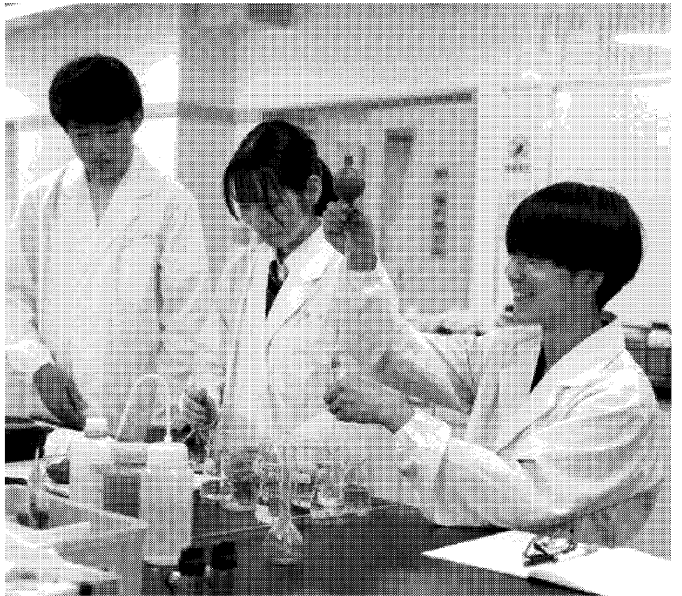
の最適化など、その可能性は広がっている。一方AIを真に活用するには、現象への深い理解と確かな実験技術が不可欠である。そのためAIの活用に加え、基礎学力や実験技術を重視し、化学・生命科学の原理



システムデザイン工学科

（本文、前ページより続く）分野を越えて協働し、課題解決に取り組むことで、高度な専門性と俯瞰的な視野を備えた人材を育成する。

過日実施されたオープンキャンパスでは、1年次の実習例としてラジコンカーの製作を紹介。機械・電気電子・制御の知識を組み合わせ、「一つの動く仕組み」をつくる実践的な学びの体験を提供した。



物質創成化学科

を学び、実験・観察を通じて現象を理解する力を養う。「なぜ起こるのか」を考え、科学的根拠に基づいて結果を判断する姿勢を大切に、先端技術を活用して新たな価値を創造できる技術者・研究者を育成する。

企業・先輩から期待の声



私は日下部機械が自社の自動溶接ロボットシステム「X SAP」の据え付け・調整をメインに担当しています。昨秋からは名村造船伊万里造船所（佐賀県）などの現場に赴き、本格運用の準備を進めてきました。ロボットが想定通り動いても不良や位置ず

日下部機械

企画開発部 設備グループ 寒竹 広彬さん



パテは肉盛り用の塗料で、防水塗料や工業用補修材、シーリング材など用途は多岐にわたっています。残念ながら、外部の機関との繋がりが始まると、社員にも緊張感が生まれるものと期待しています。ほしい人材はやはり化学系の知識を持つ人。ただ高度な専門知識は必要ではなく、化学の基礎知識があれば十分です。中小企業の良いところは、自由度が高い点です。中小企業で

関西パテ化工

代表取締役社長 川上 陽さん



1991年に奈良工業高等専門学校機械工学科を卒業後、当社の親会社であるセネコンの奥村組に入社しました。機械技術者としてトンネル工事や機電部門の業務に携わった後、2025年に奥村機械製作へ移り、社長に就任しました。当社は、地下鉄や下水道など高い技術力と柔軟な対応力を生かし、さまざまな課題解決に取り組む当社では、設計・製造・品質管理など幅広い業務を経験しながら、モノづくり全体を俯瞰できる技術者の育成を進めています。高専生の皆さんには、専門知識を深めるだけでなく、探究心とチャレンジ精神を持ち続け、モノづくりへの好奇心を大切にしながら成長していただきたいと思っています。

奥村機械製作

代表取締役社長 村中 浩昭さん

学科・コース紹介

〈情報科学科〉では、AIを支える高度情報基盤の開発を学ぶ「コンピュータサイエンスコース」と、最先端のAIに関する研究開発やビジネスへのAI活用を学ぶ「データサイエンスコース」を設置し、AI社会を支える高度情報専門人材を養成します。

〈システムデザイン工学科〉では、「機械情報コース」、「ロボティクス情報コース」、「電気電子情報コース」を設置し、機械・ロボット・電気電子と情報技術を結び付け、分野横断的にAIや情報技術を活用できる高度情報活用人材を養成します。

〈物質創成化学科〉では、AIやデータ解析を活用したデータ駆動型の材料開発を学び、マテリアルイノベーションに貢献できる高度情報活用人材を養成します。

情報科学科	40人
コンピュータサイエンスコース	
データサイエンスコース	
システムデザイン工学科	120人
機械情報コース	
ロボティクス情報コース	
電気電子情報コース	
物質創成化学科	40人

【学校概要】
所在地=奈良県大和郡山市矢田町22番地
<https://www.nara-k.ac.jp/>

目立たないことが、設備会社の誇りです。

人間は、不快に敏感で、心地よさには鈍感な生き物です。

暑くもなく寒くもない室温。色も臭いもない水。停電や電波障害のない日常。

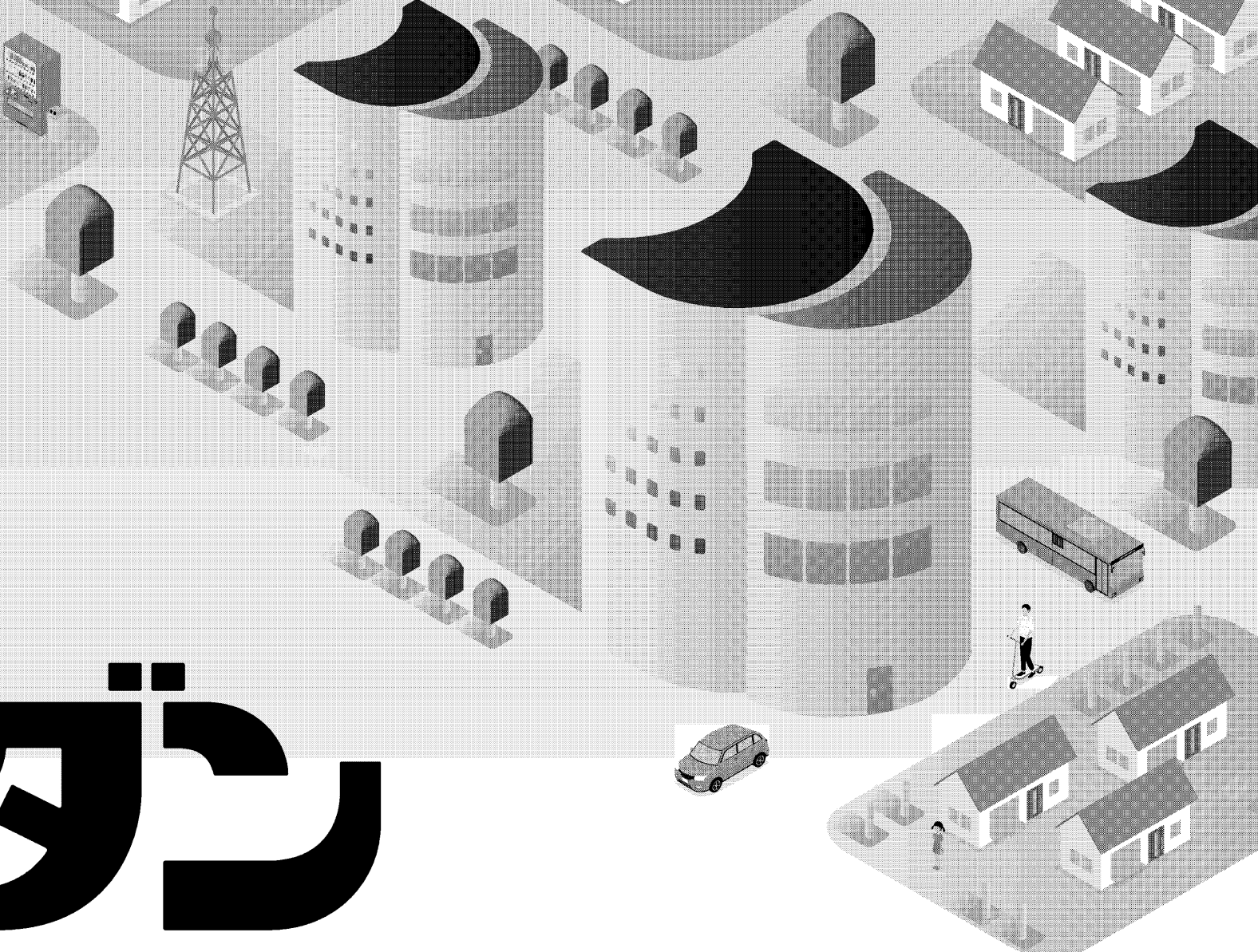
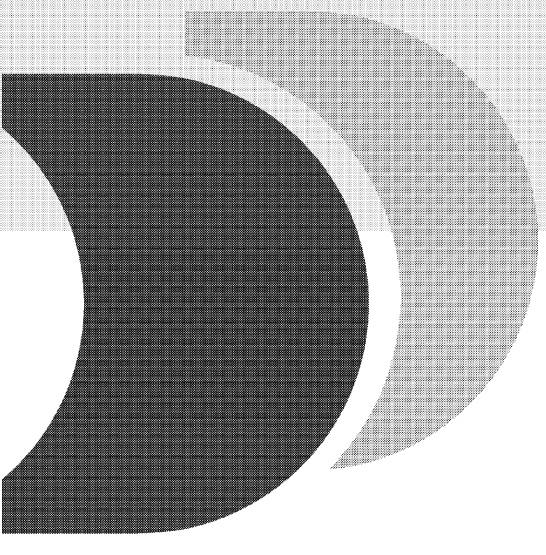
心地よい状態はあたりまえで、それを支える設備の存在を意識する機会はありません。

逆にいえば、注目されない設備工事会社ほど、トラブルが少ない優良企業だとも言えます。

だからダイダンは、なるべく思い出されたいことを目指します。

目立たないことが、何よりの誇りだから。

ダイダン



The background is a large-scale industrial scene showing a factory floor with workers and machinery. Overlaid on this are several smaller, tilted rectangular images: a car chassis being assembled, a close-up of a circuit board, a woman in a white lab coat looking down, a man in glasses smiling, a group of people standing in a room, and hands working on a small component.

 **HIRANO TECSEED**

人と技術と未来を創る
株式会社 ヒラノテクシード

世界の
工場が
欲しがる
名脇役。

Ultra-thin films
will redefine
the world technology.

採用サイトはこちら!!

ヒラノテクシード

確かな技術と 信頼を未来へ。

シールドマシン・産業機械・各種クレーンの
設計から製造まで一貫したものづくりで、社会
インフラの整備と産業の発展に貢献します。

シールドマシン

トンネル掘削を支える
高い技術力

産業機械

多様なニーズに応える
高度な設計・製造力

各種クレーン

安全確実な荷役を実現する
信頼のクレーン技術

奈良工業高等専門学校卒業生活躍中！
機械・電気技術者が多数在籍しています。

代表取締役社長 村中 浩昭（1991年 機械工学科卒）

奥村機械製作株式会社
OKUMURA MACHINERY CORPORATION

本社・工場

〒555-0033 大阪市西淀川区姫島 3-5-6 TEL.06-6472-3461

<https://www.okumura-kikai.com>

企業・先輩から期待の声

三和パッキング工業

奈良高専の機械工学科
に入学したのは、将来は

2輪車に携わる仕事がし
たいという思いからでし
た。高専で学ぶ

うちにモノづく
り(設計)が
したい」とい
う気持ちも出てき
たので、両方が
叶えられる当社
に2025年4
月に入社しまし
た。現在は当社
の主力製品の一
つであるガス

ガasket開発課
ケットの耐久性などを調
べる業務を担当していま
す。

今年6月に現在の部署
に異動するまでは、全製
品の品質管理やガススケ
ット製造工程の改善プロ
ジェクトに携わりまし
た。そのプロジェクトで
は「社内外への共有用に
生産ラインの改善案のア
ニメーションを作ってほ
しい」と依頼され、高専
の卒業研究で3次元(3

品川工業所

当社は食品加工機械の
メーカーで、私は202

3年3月に奈良工業高専
専門学校で電子制御工学
科を卒業し、当
社に入社しまし

た。学生時代は
ロボコンに熱中
していたことも
あり、機械メー
カーへの就職を
希望していまし
た。入社以来、
一貫して設計課
で仕事をしてい
ます。部内には

技術部 設計課

原 幸平 さん

奈良高専出身者が数名お
り、その意味でも働きや
すい職場です。設計だけ
なく取扱説明書も作成し
ています。私は現場主義
なので、当社の場合、設
計と工場が同じ敷地内に
あるので勉強しやすいと
思います。

高専で学んだ機械力ま
す、材料力学、熱力学、
流体力学は機械の基礎で
です。学生時代は分かりま
せんでしたが、仕事を始
めて勉強したことが生か
れることがよく分かりま
した。

高専ならではの設備や機
械を使えるほか、チャレ
ンジすることに協力的な
先生が非常に多く、新し

く、高専ならではの設備や機
械を使えるほか、チャレ
ンジすることに協力的な
先生が非常に多く、新し

佐藤薬品工業

品質管理部 主任技師補

松内 画奈 さん

私は2014年に奈良
高専を卒業し、佐藤薬品

工業に入社しました。入
社から10年以上にわた

で、働きやすい職場です。
また、社内に託児所があ

台になります。そして自
ら課題や目標を持って主

品質管理部に所
属し、現在はシ

ステム管理業務
に携わっていま

るので、安心して仕事と
育児を両立できます。実

体的に学ぶ姿勢は社会に
出てからも強みになるは

す。試験記録は
全てシステム上

で管理されてお
り、その運用を

担当しています
。私が所属す

ずです。高専生には、今
しかできない経験や、仲

る部署は女性の
割合が半数以上

です。私が所属す
る部署は女性の

高専で身につけた知識や
技術は社会で活躍する土

間との時間を大切にし
て、自分の興味や目標に

で管理されてお
り、その運用を

担当しています
。私が所属す

高専で身につけた知識や
技術は社会で活躍する土

向って積極的に取り組ん
でほしいです。高専で学

割合が半数以上
です。私が所属す

る部署は女性の
割合が半数以上

高専で身につけた知識や
技術は社会で活躍する土

んだことは必ず将来、皆
さんの力になるはずで

サンコー 技研

代表取締役社長

田中 敬 さん

当社は精密打ち抜き加
工を得意とする東大阪の

中小企業です。製品はプ
リント基板や光学シー

外企業との取り引きも増
えています。また独自の

や語学力をさらに磨きた
いという意欲のある技術

TOICカード、
二次電池など多

岐にわたり、打
ち抜きに関する

出しており、工場のDX
化を加速させる「スマ

長してもらいたいと思っ
ています。技術で世界と

を提案できま
す。従業員40人

の中小企業なが
ら取引先は大手

アブリ開発事業にも乗り
出しており、工場のDX

勝負するチャレンジでき
る人を求めます。私の好

企業ばかりで、
近年はアメリカ

を中心とした海
を経験を問わず、技術力

も大型案件だけにトッ
プが走り始めるだけでは限

きな言葉は「世界を変え
る技術もたった1人の情

を中心とした海
を経験を問わず、技術力

も大型案件だけにトッ
プが走り始めるだけでは限

きな言葉は「世界を変え
る技術もたった1人の情

熱から始まる」です。

仕事 なのに 夢中 になれる

自分の考えたものが、
目の前で動く。

メカ、制御、センサー、プログラム、
いろいろな技術を組み合わせて装置をつくる。
うまくいかない。だから考える。
動いた。だから、もっとやりたくなる。

現物認識
多機能加工システム

X エグザップ
SAP®

特許申請中

KUSAKABE 日下部機械株式会社

本社 〒561-0872 大阪府豊中市寺内1-2-2 TEL.06-6866-1131(代) / FAX.06-6866-0087

<https://kusakabe-kikai.jp/>

進歩を求めて励め

105
th
Anniversary

その技術が、 世界を走らせる。

The Technology That Keeps the World Moving.

三和パッキング工業株式会社



CELL-COAT INSULATION PLUS

雨だけじゃない、
“熱”からも建物を守る

セルコート断熱プラス

CELL-COAT INSULATION PLUS

アクリルシリコン系樹脂と特殊アスファルトエマルジョンに
エアロゲルと中空バルーンを配合することで、
高い防水性と断熱性を両立させた
水性塗膜防水材です。

一液型
断熱防水
塗料

関西パテ化工株式会社
https://www.kansaipate.co.jp/

本社 〒579-8003 大阪府東大阪市日下町3丁目7番36号
TEL.072-982-2131 FAX.072-982-2135

企業・先輩から期待の声

ダイダン

代表取締役社長 山中康宏さん

私は1983年に奈良工業高等学校機械工学科を卒業しました。25年以上にわたり建築現場で技術者として経験を積んで来ました。ダイダンは、高専卒の社長は当社では初めてです。ダイダンは、空調・衛生・電気設備工事を中心に、ビルや病院、近年では半導体工場、データセンターなどの設備工事を手掛けています。高専時代は数々の経験が、今の基礎ができて、空気や水の流量計算などがスムーズに理解できたことを覚えております。

目の前のことに真摯に取り組む、最後までやり抜く力は、今も私の土台になっています。高専での学びは、社会に出てからも必ず役に立ちます。一つひとつの課題にまじめに取り組むことが、自身の成長だけでなく、会社や社会への貢献にもつながると思います。

タカトリ

ものづくり事業本部 新素材機器カンパニーカンパニー長 植松豊さん

私は1992年に奈良工業高等学校機械工学科を卒業しました。卒業後、建築設備の設計・施工会社を経て、20代で現在の会社に転職して以来、新素材機器分野の仕事に携わっています。高専で学んだ知識が、そのまますぐに使われるとは限りませんが、基礎知識をもとに論理的に考え、課題を解決する力は、今の仕事を支える大きな土台です。

在学生には、固定観念にとらわれず、自由な発想で行動してほしいと思います。「本音がわかるのか」と常に問い続ける技術者として活躍してほしいです。

ヒラノテクシード

開発部 開発課 課長 中村行良さん

私は2000年に奈良工業高等学校機械工学科を卒業し、同年ヒラノテクシードに入社しました。今年で勤続26年になります。最初は設計、その後、開発課に転じました。当社は塗工機械や工場の有力メーカーで、東証スタンダード市場に上場しています。奈良県内の上場企業とあって、歴史的に奈良高専の出身者は多く、大先輩の2期生の方が在籍していたほか、現在は18人の卒業生が活躍しています。開発部は若手社員が多く女性も3人、外国籍の方も3人います。最先端の仕事だけに産学連携は重要で、国内では金沢大学、海外でも米国・ミネソタ大学と緊密な関係を築いています。とくにミネソタ大学は、高専生には、培った専門知識と実践力を武器に、自分の強みを生かせる仕事を見極め、自分らしく未来のモノづくりを支える技術者として活躍してほしいです。

理研計器奈良製作所

営業技術部 技術課 係長 木村猛さん

私の経歴は少々複雑でした。そこで8年勤め、奈良県桜井市の理研計器校を卒業後、工業炉のメーカーに就職しましたが、乗り物好きが高じてバスドライバーに転職しました。主としてマイコンのソフトウェア設計を担当しています。この仕事は、チームワークが大事で、職場内の横の繋がりが求められます。何れも、チャレンジすることです。若いうちには、やり直しが利くので、失敗を恐れずいろんな分野に挑戦してほしいと思います。

The sky's the limit!

サンコー技研は、厚さ1mm以下の精密打ち抜き加工に強みを持つ技術系中小企業(従業員約40名)です。交通系ICカードやEV・半導体・医療分野での豊富な加工実績に加え、自社開発の作業日報アプリ「スマファク!」で中小企業の生産性向上も支援。さらには品質管理室も強化しています。アメリカやヨーロッパで、技術で挑戦・活躍したい方は是非!

町工場がつくった町工場のための見える化アプリ

スマファク!

振るだけ日報
完全
トレサビリティ
対応

工場見える化
分析・
効率UP!

株式会社 サンコー技研

本社：〒578-0932 大阪府東大阪市玉串町東3-5-38
TEL. 072-964-3204 FAX. 072-964-2748
第2工場：本社工場隣(完全クリーンルームプレス工場)

